

# こくろう秋田

## 松島で活動家交流集会開催

11月29、30日、松島町・パレス松州を会場に「国労東北活動家交流集会2009」が開催された。参加者は東北3地本と本部役員、講師を含め50名。秋田からは秋総車七支部から2名、秋田支部から3名の他、地本選出の協議会役員3名が参加した。なお、この日は国労東北議員団総会も合わせて開催された。



松島で開いた国労東北活動家交流集会2009

国鉄労働組合  
秋田地方本部  
(秋田市中通  
7-2-21)  
018-832-3775  
発行責任者  
瀬下 一司  
編集責任者  
佐藤 浩一

集会は齋藤事務局  
長(盛岡地本委員長)  
の司会で開催され、

橋本議長(仙台地本委員長)からは「恒例の交流集会ではあるが、学習を深め闘いの力にしていこう」と挨拶があった後、東日本本部の顧問弁護士でもある海渡雄一弁護士からの記念講演、中央本部・高橋執行委員長からの情勢報告などと続いた。

### えん罪を生まない刑事裁判を

記念講演

海渡雄一弁護士



海渡雄一弁護士  
(写真・右)の記念講演は「えん罪を生ま

ない刑事裁判のために」「平和・人権保障の礎としての憲法」をテーマに、休憩を挟んで約1時間40分の話をされた。講演の内容は「裁判委員が忘れてはなら

ない警察捜査と取調べの実態」について、後を絶たないえん罪事件の生まれる要因などがリアルに報告された。また、裁判委員に選ばれた際の心構えやえん罪を生まないための「代用監獄の廃止」や「取調べの可視化」などの制度改善などについても触れられた。参加者からは、「えん罪に巻き込まれたらどう対応したらいいか」などの質問が寄せられた。

講師の2人目は中央本部・高橋執行委員長から「JR不採用問題の現状報告」と題し、①1月から総選挙までの取り組みの経過、②総選挙後の取り組み、③4者4団体として今後の構えと取り組みなどについての講演が行われた。

その後、休憩を挟んで東日本本部・武田組織部長から、①組織の現状、②新規採用者への対策と今後の取り組みなどについて報告が行われた。また、来賓として全交運共済東北支所から佐藤副部長が出席された。

18時からの夕食交流会は議員団総会参加者と合同で開催された。この中で、昨年12月に国労に加入した仙台地本の兜森さんが「職場の国労組合員の姿を見ていつかは国労に入ろうと思っていた。いい先輩にめぐり合えた」と、国労加入の動機を熱く語ってくれた。(彼は大館出身でJRバスの秋田事業所にいた時に加入したとのこと)また、急遽駆けつけて頂いた山形出身の吉泉秀男衆議院議員(比例・社民党)からは「不採用問題の解決に向け努力したい」との挨拶を頂いた。

全体交流の後はそれぞれの部屋に帰り、夜遅くまで交流が続いた。

2日目の講義の最初は、東日本本部・松井書記長から「東日本本部の取り組みと課題」と題し、

### 東北協議会の議長 瀬下委員長就任

「活動家交流集会」の一日目  
終了直後に、「国労東北協議会  
第24回定期総会」が開催された。

▽副議長兼事務局長  
橋本昭二(仙台)

総会議長には山形県支部・原田

支部委員長。齋藤事務局長から

提起された経過と決算報告、方

針と予算案が満場一致採択され

た。新たな役員体制は以下のと

おり

▽議長 瀬下一司(秋田)

▽副議長 齋藤庄司(盛岡)

▽副議長 齋藤庄司(盛岡)

また、退任された役員は、幹事・大沼元(仙台)、会計監査員・伊藤政利(秋田)、沢田光広(盛岡)の3名。お疲れさま

### お知らせ

◆JR不採用問題の早期解決を求める秋田地区集会

期日 12月14日 17時40分

場所 秋田総合車両センター集会所

◆JR不採用問題の早期解決を求める横手地区集会

期日 12月15日 18時

場所 横手地区協議会事務所